

令和元年6月7日	
資料提供（県庁・西牟婁振興局と同時提供）	
担当課	農林大学校林業研修部
担当者	中谷、上地
電話	0739-47-4141

2019年度第2回農林大学校林業研修部公開講座を開催します

特用林産栽培・活用講座

テーマ「活かそう！木の国 山の恵み」

講師：和歌山県林業試験場 特用林産部長 坂口 和昭

開催日時：令和元年 8月 24日（土）13時～15時まで（受付開始12時40分）

場 所：農林大学校 林業研修部 大教室
住所：西牟婁郡 上富田町 生馬1504-1

募集定員：45名（先着順）

応募締切：令和元年 8月 16日

申込み先：農林大学校 林業研修部
TEL：0739-47-4141
お電話にて直接お申し込みください。
受付時間は平日の9時～17時30分です。

主 催：和歌山県

【講座の内容】

和歌山県は古くから紀州「木の国」といわれ、県土の77%が豊かな森林に覆われ、優良なスギ、ヒノキなどの紀州材を生産してきました。

しかし、森林には木材以外にも山菜やきのこ、木の実、サカキ、コウヤマキなどの花木、薬草、紀州備長炭・・・など「山の恵み」が沢山あります。このような木材以外の森の資源を「特用林産物」と呼びます。

特に紀州備長炭は、世界に類のない硬質白炭で「木炭の最高傑作」と評され、焼き物料理には欠かせない木炭として和食文化を支えてきました。

製炭技術は千二百年前に空海が伝え、今日まで伝承されてきたと言われていいます。原木はウバメガシ等のカシ類を使用しますが、「択伐」という伐採技術で原木を枯渇させることなく循環利用されてきました。

今回は、紀州備長炭を中心に伝統技術に秘められた技術の結晶とその魅力についてお話をいたします。



紀州備長炭



択伐の様子